

信者2世への人権侵害深刻

「集会や伝道」を行ったがらなかつたり反抗したりするなど「ムホースやベルトなど」のムチでたたかれた」「信者以外の交友関係は制限された」。

社会調査支援機構「チキラボ」が宗教信者の親を持つ2世のを対象とした調査に、宗教を背景とした人権侵害の被害が数多く寄せられました。調査に寄せられた声を詳報します。

調査（一日発表）は9月19日の間にネットからの暴力を経験。選挙で行い、有効回答は131件。チキラボは回答の上位3位を占めた創価学会、エホバの証人、統一協会（世界平和統一家）た。

創価学会・エホバ・統一協会分析

「教団から求められたこと」「家族から求められたこと」の回答割合

	教団から	家族から
儀式等への出席	84.2	89.9
教団への献金	42.8	34.2
社会奉仕活動への参加	36	30.3
教団関連団体への所属等	43	39.5
選挙集会への動員	31.8	22.8
知人への投票呼びかけ	35.8	27.3
街中や戸別訪問の勧誘	34.9	26.9
友人・知人への勧誘	48.2	33.4
祈りの時間確保	76.9	81
自分の身体を酷使修行	11.9	13.1

チキラボの実態調査から作成。いずれも値は%

用の鞭（むち）で打たれたり、電流を流す機械の使用を強いたり、「教団の懲罰」を聞いたりすると、親が私を賣つて、暗な部屋に置つたことを聞かれて、今まで閉じ込め続けた。

ところが、この深刻な虐待が報じられました。

「ひどいアート」——性愛痴女炎には、薬を塗ってもいえず、信仰で販売している水（ただの水道水を高値で販売しているものです）を塗られ、風邪を引いても病院に連れて行つてもらひえなかつた」と適切な治療を受けられなかつた事例もあります。

選挙活動を強制

選挙に関する問題では、「選挙活動を拒否する事ができない。教団の組織が自公の投票を信者にさせている。教団の集会や支持政党の選挙のパンフレット

統一教会の回答者のうち、70・2%が教団から献金を求められたと答えました。エホバの証人は

暴力・虐待報告

鞭打たれた／治療受けられず／性規範押しつけ

【脚註】  
家系は先祖の悪い因縁があつて、宗教の教えを著

新規性をもつた制度の整備を要望していく。